

(2) 生涯学習

生涯学習分野については、平成 28 年度から「第 5 次千葉市生涯学習推進計画」に基づき各種施策を進めています。なお、第 5 次千葉市生涯学習推進計画は平成 30 年度末に中間見直し（P 65、66 参照）を行ったため、見直し後の計画に基づき、自己評価を行います。

千葉市生涯学習推進計画の目標

市民が自ら学んだ成果を生かし、
活力あるコミュニティを形成できる環境づくりを進める
～学びを通して地域がつながるまち 千葉市～

「成果指標」における「達成状況」の記載について

各指標について、H30 末実績値の状況を 3 段階に分類します。

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	H30 末実績値が最終目標（R3 末目標）以上
○	H30 末実績値が中間目標（H30 末目標）以上
×	H30 末実績値が中間目標（H30 末目標）未満

※数値データの出典などについては、各成果指標の右下に示しています。

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

各計画事業について、H30 末の状況を示します。

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
達成	H30 末実績値が最終目標（R3 末目標）以上となっているもの。
順調	計画に対し、概ね計画通り進捗しているもの。 ・定量的に事業量を測ることが可能な事業は、H30 末実績値が中間目標（H30 末目標）以上のもの、 その他の事業は、中間目標（H30 末目標）に対し遅延・乖離が生じていないもの。
遅れ	計画に対して事業進捗に遅れが出ているもの。「継続」で事業規模を縮小したもの。 ・定量的に事業量を測ることが可能な事業は、H30 末実績値が中間目標（H30 末目標）未満のもの、 その他の事業は、中間目標（H30 末目標）に対し遅延・乖離が生じているもの。
休止	H30 末時点で事業を休止し、次年度以降に再び実施する予定のもの。
中止	H30 末時点で事業を中止し、今後も実施する予定のないもの。

【参考】中間見直しの概要

1 計画の見直しにあたって

(1) 見直し実施の背景

第5次千葉市生涯学習推進計画は、平成28年度から令和3年度までの6年間の計画期間としており、変化への対応と実行力のある計画とするため、計画の中間年度での見直しを行うこととしています。

計画期間の後半3年間の見直し後の計画に沿って事業を推進するために、過去2年間の実績を踏まえ、平成30年度に計画の見直しを行いました。

(2) 関連する計画との整合性

第5次千葉市生涯学習推進計画の見直しにあたっては、本計画と関連が深い、国の「第3期教育振興基本計画」や、本市の「第3次実施計画」、「第2次千葉市学校教育推進計画」の内容も踏まえ、これらの計画との整合性を考慮して見直しを行いました。

2 計画の見直しの方向性

(1) 成果指標について

ア 実績評価について

平成28年度末及び29年度末の現状値を基に、評価及び分析を行いました。平成28年度末及び29年度末の現状値を算出していない2項目については、生涯学習関係団体アンケートを実施して平成30年度の現状値を算出し、分析を行いました。

イ 見直しについて

アの評価検証を基に、必要に応じて目標値の変更を行いました。

(2) アクションプランについて

ア 見込及び実績評価について

平成30年度末及び令和3年度末の事業の見込値、進捗状況を算出しました。また、取組状況について評価検証を行いました。

イ 見直しについて

アの評価検証を基に、必要に応じて目標値の変更、アクションプランの追加を行いました。

3 見直しを行った成果指標・アクションプラン

(1) 成果指標について

成果指標全 10 項目のうち、計画策定時の目標値と中間見直し時の現状値が大きく乖離することから、目標値の変更を行ったものは 5 項目です

(2) アクションプランについて

ア 目標値の変更

アクションプラン全 41 事業 56 項目のうち、目標値の変更を行ったものは 6 事業 8 項目です。

イ 新規追加

新規追加したアクションプランは 5 事業 5 項目です。また、既存の事業に項目を追加したものは、3 事業 6 項目です。

1 学習活動のきっかけの提供

1-1 生涯学習の普及啓発

施策の方針

- 市民が学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。
- 国・県・大学等、市以外が提供する学ぶ場についても積極的に情報発信し、学習機会の拡大に努めます。
- 学習に関する各種相談を受け付けることで、スムーズな学びはじめ・学び直しをお手伝いします。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
1	生涯学習に関心のある市民の割合	76.9% ※1	83.0%	90.0%	80.5%	75.9%	76.3%	×
WEBアンケート (※2)								
2	生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合	56.4% ※1	25.0% ※3	34.0% ※3	19.3% ※4	22.0%	24.5%	×
WEBアンケート (※2)								

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 9 月に実施したインターネットモニターアンケートの数値を使用。

※2 平成 28 年度末より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更。

※3 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※4 平成 28 年度末に調査方法を WEB アンケートに変更した際、設問内容を変更したため、当初と比べ平成 28 年度以降の数値が大きく変動している。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体による学ぶ場と学ぶための情報提供や、生涯学習イベントを継続して実施しました。その結果、生涯学習に関心のある市民の割合は、前年度と比較し、0.4ポイント上昇しましたが、中間目標は達成できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNSを活用した情報の発信や、情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくりにつなげ、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> SNSでの発信や冊子・チラシなどの発行により、生涯学習の情報を提供していますが、中間目標は達成できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した情報発信の拡充、情報誌やチラシなどの発行回数の増加、公民館の掲示板の活用など、各年齢層の利用者に届くよう、様々な手法を活用した情報発信を充実します。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		各年度の実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
1	学ぶ場と学ぶための情報提供の充実	SNS等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供	実施	拡充	実施	拡充	拡充	継続	順調
2	学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	eラーニングの普及事業の実施	eラーニング普及事業の実施	検討	実施	継続	実施	実施	継続	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、Facebook や HP を使った講座情報の発信に努めるとともに、生涯学習広場において近隣大学、社会教育施設等の講座に関する情報を提供しました。 ・公民館では、公民館だよりやチラシなどの発行、市政だよりを活用し、学ぶための情報を提供しました。また、SNS (Twitter、Facebook) を利用した情報発信を一部公民館で行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、今後も継続して市民に届く情報発信、生涯学習情報の収集に努めます。 ・公民館では、ホームページの改修を行い、利用者が使いやすく、分かりやすい情報発信に努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、様々なテーマで各種講座を開催したほか、上映会、コンサートなどを定期的で開催するとともに、生涯学習施設に気軽に足を運んでもらうため、まなびフェスタなどのイベントを実施しました。 ・公民館では、生涯学習の意義や学びの楽しさを「公民館文化祭」を通して伝えることができました。 ・科学館では、様々なテーマで各種講座を開催するとともに、科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学・技術の祭典として科学フェスタ (13,600 人参加) を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も「まなびフェスタ」や「公民館文化祭」、「千葉県科学フェスタ」といった生涯学習イベントを開催し、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターにおいて、民間事業者 (スクー) と連携し、持込パソコンや無料貸出 iPad を利用して学習できるオンライン動画学習サービスを実施し、1 年を通して e ラーニングに触れて学べる機会を提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の普及啓発のため、e ラーニングの普及事業などを継続して実施します。

1-2 学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるとあって、快適で参加しやすい学習環境の確保に努めます。
- ICT等の活用を通じた生涯学習施設の利用サービスの向上に努めます。
- 生涯学習施設等の保全・改修により、学習環境の維持・向上に努めます。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
3	市の生涯学習施設が5年前よりも利用しやすくなったと考える市民の割合	31.5% ※1	54.0% ※2	58.0% ※2	— ※3	— ※3	53.3%	×
生涯学習関係団体アンケート調査								
4	生涯学習施設を年1回以上利用したことのある市民の割合	44.1% ※4	74.0% ※2	80.0% ※2	— ※5	73.1%	68.0%	×
WEBアンケート(※6)								

※1 平成27年度末現状値は、平成26年11月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出。

※2 平成30年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※3 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成28・29年度は未実施。

※4 平成27年度末現状値は、平成27年1月に実施した「市民1万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。

※5 「市民1万人のまちづくりアンケート」は3年に1回の実施のため、平成28年度は未実施。

※6 「市民1万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成29年度からWEBアンケートにより調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
3	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度は公民館の修繕や古くなった備品を交換するなど、集中的に学習環境を整備しましたが、中間目標を達成できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の修繕や古くなった備品の交換を計画的に実施するとともに、施設のわかりやすい案内表示や、職員に声のかけやすい環境づくりに努めます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信に取り組んでいるものの、平成 30 年度末実績値は前年度から 5.1 ポイント下降しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNS を活用した情報の発信や、講座の情報誌やチラシなどの発行回数を増加することで、学習のきっかけづくり、生涯学習施設の利用につながるよう努めます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、中央図書館、市民総務課、こども企画課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
1	生涯学習施設等 の利用環境の充 実	生涯学習センター の施設稼働率	51.5% (H26)	54.0%	55.0%	58.2%	62.8%	64.7%	達成
		公民館の施設稼 働率(* 調理室を 除く)	45.2% (H26)	48.0%	51.0% (※)	46.8%	46.8%	45.8%	遅れ
2	図書館サービス の向上	地区図書館の開 館時間の拡大	—	1 館	1 館	—	—	—	遅れ
		分館における休 日開館の実施	—	3 館	3 館	—	—	—	遅れ
3	子どもの居場所 の確保	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	公民館の改築	犢橋公民館の改 築	基本設 計	H30 年 4 月供用 開始	供用	建設中 (H29 年 10 月供用開始 予定)	H29 年 10 月供用 開始	H29 年 10 月供用開 始 (H29 の実 績再掲)	達成
5	公民館の改修	冷暖房設備改修	3 館 (H26)	1 館 (H30 末ま での累計)	4 館 (R3 末ま での累計)	計 1 館 (H28:1 館実施)	計 2 館 (H29:1 館実施)	計 2 館 (H30:0 館実施)	順調
		屋上防水・屋根改 修	3 館 (H26)	6 館 (H30 末ま での累計)	12 館 (R3 末ま での累計)	計 4 館 (H28:4 館実施)	計 6 館 (H29:2 館実施)	計 9 館 (H30:3 館実施)	順調
		トイレ改修	1 館 (H26)	6 館 (H30 末ま での累計) (※)	14 館 (R3 末ま での累計) (※)	計 0 館 (H28:実 施設計)	計 4 館 (H29:4 館実施)	計 6 館 (H30:2 館実施)	順調

※ 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

生涯学習振興課、中央図書館、市民総務課、こども企画課

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、施設稼働率が平成 30 年度末で 64.7%と、平成 29 年度末に比べて 1.9 ポイント上昇しました。 平成 30 年度の公民館の稼働率は 45.8%で、前年度の稼働率に比べ 1 ポイント減少しました。施設の修繕や備品の更新など積極的に学習環境の整備を行いましたが、主な原因として、施設の老朽化や利用者の高齢化による活動団体の減少が考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率を向上させるため、公民館の修繕や古くなった備品の交換を計画的に実施するとともに、施設のわかりやすい案内表示や、職員に声のかけやすい環境づくりに努め、利用環境の充実を図るとともに、利用団体の支援や広報に取り組みます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 3 月に開館した「みずほハスの花図書館」において、他図書館が休館日である月曜日の開館を実現しました。 	<ul style="list-style-type: none"> みずほハスの花図書館の成果等を踏まえ、現在策定中の新たな図書館計画の中で、開館時間の延長や祝日開館の必要性、それを実現するための方策について検討します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる大人の見守りの中、自然の中で自由に遊ぶことができるプレーパークや、市や大学・市民団体など様々な主体が連携しながら運営するこどもカフェ等の事業により、安全で安心して活動できる子どもたちの居場所を確保することができました。 公民館では、土曜ひろばなどの講座、一部諸室の自習室としての開放等に引き続き取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> こどもカフェについては、8 年間のモデル運営の中で蓄積してきたノウハウを生かし、令和元年度より市民ボランティアを主体とした「どこでもこどもカフェ」事業に移行します。 「プレーパーク」や「土曜ひろば」といった子どもの居場所を確保する事業などを継続して実施します。
4	<ul style="list-style-type: none"> 利用者・関係者からの要望を受け、当初の予定を 6 か月前倒しし、平成 29 年 10 月に供用開始しました。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設備や屋上防水改修は、中長期保全計画にもとづき、改修を進めています。 トイレ改修は洋式化に特化し、洋式便器の設置率を早期に向上させるよう進めています。(平成 30 年度末現在 72.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、冷暖房設備、屋上防水改修及びトイレ改修を計画的に実施します。

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		各年度の実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
6	中央図書館・生涯 学習センター等の 改修	中央図書館・生涯 学習センターの改 修	中央監 視装置 更新 (H26)	アトリウム ガーデン屋 根防水	工事完 了済	実施設 計	H30 年 3 月 工事完了	H30 年 3 月 工事完了 (H29 の実 績再掲)	達成
				吊天井落下 防止対策	工事完 了済	実施設 計	H30 年 3 月 工事完了	H30 年 3 月 工事完了 (H29 の実 績再掲)	達成
		南部青少年センタ ー・みやこ図書館 白旗分館 受水 槽更新工事	—	実施設計、 工事	工事完 了済	—	—	—	—
7	コミュニティセンタ ーの改修	外壁・屋上防水改 修	工事 2 館 (H26)	—	実施設計 1 館 (※1)	計工事 0 館 (H28:0 館 実施)	計工事 0 館 (H29:0 館 実施)	計工事 1 館 (H30:1 館 実施)	順調
		空調・熱源改修	実施設計 1 館 (H26) 工事 1 館 (H26)	工事 1 館 (H30 末 までの累 計)	実施設計 1 館 工事 1 館 (※1)	計工事 1 館 (H28:1 館 実施)	計工事 1 館 (H29:0 館 実施)	計工事 2 館 (H30:1 館 実施)	順調
		劣化度調査	—	2 館 (H30 末 までの累 計)	3 館 (※1)	計 2 館 (H28:2 館実施)	計 2 館 (H29:0 館実施)	計 2 館 (H30:0 館実施)	順調
8	千葉市科学館リ ニューアル	千葉市科学館展 示リニューアルの 検討	—	—	検討	—	—	—	— (※2)
9	公民館への社会 教育主事配置	公民館における 社会教育主事資 格取得者数	—	—	12 人	—	—	12 人	— (※2)

※1 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン8「千葉市科学館リニューアル」とアクションプラン9「公民館への社会教育主事配置」は平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加したアクションプランであり、中間目標(平成 30 年度末目標)が設定されていないため、進捗状況の評価は行わず、平成 30 年度末実績値及び最終目標(令和3年度末目標)のみ参考として掲載。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
6	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館・生涯学習センターのアトリウムガーデン屋根防水、吊天井落下防止対策は平成30年3月に完了しました。 ・南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の受水槽更新工事については、緊急性が低いとの判断から、改修が先送りとなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者への影響を考慮しながら、効率的な施設改修を検討します。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・中期保全計画に基づき、計画的に施設改修を進めています。平成30年度はあすみが丘プラザの内外部改修工事と空調設備工事を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、計画的に施設改修を実施します。

※ アクションプラン8「千葉市科学館リニューアル」とアクションプラン9「公民館への社会教育主事配置」は、平成30年度末に行った中間見直しの際に新規追加したものであるため、平成30年度の「主な成果と考察」と「今後の取組み等」は記載しない。

2 多様な学習機会の確保

2-1 郷土への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土に対する理解と愛着を深めるため、地域の歴史や文化資源を生かした学習機会を提供します。
- 郷土の伝統・文化を適切な保護・保存方法により後世に引き継ぐとともに、ふるさと意識の醸成を図ります。

成果指標

文化財課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
5	郷土の歴史や文化財に愛着を感じる市民の割合	38.3% ※1	56.0% ※2	59.0% ※2	— ※3	55.7%	61.3%	◎
WEB アンケート (※4)								

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。

※2 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施。

※4 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から WEB アンケートにより調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
5	・特別史跡加曾利貝塚や千葉市の礎を築いた千葉氏などを筆頭に、PR イベントや普及活動を積極的に行った結果、郷土の歴史や文化財に対する市民の興味・関心が高まったと考えられます。	・より多くの方に満足いただける学習機会を提供できるよう、引き続き、関連するアクションプランの充実を図ります。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、文化振興課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標			各年度の実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間)	R3 末 (最終)	H28 末	H29 末	H30 末		
1	加曾利貝塚の国 特別史跡指定	総括報告書の刊 行	総括報告 書の作成	総括報告 書の刊行	総括報告 書の刊行	総括報告 書の刊行	総括報告 書の刊行 (H28 の実 績再掲)	総括報告 書の刊行 (H28 の実 績再掲)	達成	
2	文化財の保存・活 用の推進	ゆかりの家・いな げの改修	—	外壁等腐食 箇所修繕、 電気設備工 事	外壁等腐食 箇所修繕、 電気設備工 事完了	—	—	—	遅れ	
		旧検見川無線送 信所の修繕	屋上防水実 施設計	屋上防水及 び外壁補修 工事	屋上防水及 び外壁補修 工事完了	屋上防水改 修工事完了	屋上防水改 修工事完了 (H28 の実 績再掲)	—	休止	
		市民ギャラリー・ いなげ(旧神谷伝 兵衛稲毛別荘)の 改修	基本設計	耐震改修、 屋根防水改 修工事	耐震改修、 屋根防水改 修工事完了	実施設計	—	耐震改修、 屋根防水改 修工事	順調	
3	郷土の理解を深 める講座・事業の 充実	加曾利貝塚など 縄文時代の理解 を深める講座・事 業	11 事業	13 事業	13 事業	11 事業	15 事業	34 事業	達成	
		千葉氏など郷土 の歴史の理解を 深める講座・事業	24 事業	26 事業	26 事業	26 事業	25 事業	28 事業	達成	
4	縄文文化調査研 究の推進	特別史跡加曾利 貝塚の究明に向 けた発掘調査	—	—	調査概報 の刊行	—	—	—	— (※)	
5	特別史跡加曾利 貝塚の魅力向上	加曾利貝塚博物 館の来館者数	—	—	100,000 人	—	—	77,222 人	— (※)	

※ アクションプラン4「縄文文化調査研究の推進」とアクションプラン5「特別史跡加曾利貝塚の魅力向上」は、平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加したアクションプランであり、中間目標(平成 30 年度末目標)が設定されていないため、進捗状況の評価は行わず、平成 30 年度末実績値及び令和3年度末目標(最終目標)のみ参考として掲載。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 10 月 13 日付けで国の特別史跡に指定されました。平成 30 年度の加曽利貝塚博物館の来訪者は 77,222 人となり、36 年ぶりに過去最多を更新しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚の発掘調査や史跡整備を進めるとともに、新たな縄文体験の提供など来場者のニーズを踏まえた事業を積極的に実施します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ゆかりの家・いなげでは、瓦葺屋根・外壁・戸袋等の小破修繕を実施しました。 旧検見川無線送信所では、屋上防水工事を平成 28 年度に実施したことにより、以後、雨漏りによる被害は発生していません。 市民ギャラリー・いなげでは、平成 30 年 10 月から耐震改修工事に着工しました。(2 か年継続事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ゆかりの家・いなげは、令和元年度に電気設備工事の実施を予定しています。また、外壁等の老朽化については、地域有形文化財としての価値を損なうことが無いよう、劣化状況を注視しつつ、適切な修繕に努めます。 旧検見川無線送信所は、区画整理事業地内のため、都市局が策定中の再整備計画の進捗状況を勘案の上、建物の劣化状況を注視しつつ、今後の保存、活用を検討します。 市民ギャラリー・いなげは、令和 2 年 1 月末に耐震改修工事が完了予定です。
3	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚博物館では、新たに講座「土偶づくり教室」「自然観察ワークショップ」「夏休み縄文時代教室」やイベント「Winter Museum」「縄文くらし体験&縄文ひろば」を開催するとともに、今後複数年度にわたり加曽利 E 式土器の変遷を辿る企画展をスタートさせるなど、事業の拡充を図りました。 郷土博物館では、本市の礎を築いた千葉氏に関する講座を千葉大学と共催で実施するとともに、千葉常胤生誕 900 年の節目の年に合わせた企画展を開催しました。また、千葉氏が活躍した中世への興味喚起を図るべく「鎌倉騎馬武者体験」を 3 回実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚博物館では、動物公園や科学館、学校等と連携し、新たな視点により事業を展開します。また、参加者アンケートでは、各種講座やイベント等の開催を来館して初めて知ったという回答が多かったため、平成 30 年度にリニューアルしたホームページ及び開設した Twitter アカウント等による情報発信に努めます。 郷土博物館では、今後、魅力ある事業を展開していくため、その基礎となる研究体制を充実させていく必要があるほか、ホームページをリニューアルし、郷土史についての情報を積極的に発信します。

※ アクションプラン4「縄文文化調査研究の推進」とアクションプラン5「特別史跡加曽利貝塚の魅力向上」は、平成 30 年度末に行った中間見直しの際に新規追加したアクションプランであるため、平成 30 年度の「主な成果と考察」と「今後の取組み等」は記載しない。

2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化・多様化する現代社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するため、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。
- 科学・技術に関する講座・事業を通して、市民のライフスタイルに科学が溶け込む環境づくりを進めます。
- 様々な立場の市民が、生涯を通じて必要な知識・技能を身に付けられるよう、学び直しを支援します。
- 子どもから子育て世代、お年寄りまで、様々な世代のライフステージに応じた学習機会を提供します。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
6	公民館の講座の参加者の満足度	98.2%	99.0%	99.5%	98.5%	98.7%	98.4%	×
受講者アンケート調査								
7	「科学都市ちば」の認知度	38.6% ※1	43.0%	50.0%	55.6%	56.7%	47.5%	○
WEB アンケート (※2)								

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 2 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出。

※2 平成 28 年度末より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
6	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では、地域における課題や利用者のニーズを把握し、主催事業を実施しています。平成30年度は中間目標を達成できませんでしたが、前年度より185回増の972講座を実施し、98.4%と非常に高い満足度となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者アンケートにより地域課題や利用者のニーズを的確に把握したうえで、実施時期等の検討をするとともに、講座内容や実施回数を充実し、さらなる満足度の向上を目指します。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な広報や事業を実施してきたことで、平成27年度末現状値から大幅に上昇し、中間目標を達成しました。しかし、平成28、29年度末実績値からは下降しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県科学フェスタメインイベントや科学館事業の充実はもちろんのこと、未来の科学者育成プログラム等、児童生徒向けの事業の充実を図り、「科学都市ちば」の認知度の上昇に努めます。

アクションプランの進捗

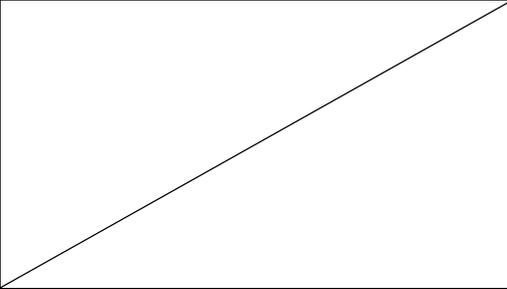
生涯学習振興課、中央図書館、文化振興課、スポーツ振興課、高齢福祉課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
1	現代的課題学習 事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
2	文化・芸術学習事 業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	スポーツ・レクリエ ーション推進事業 の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	「(仮称)瑞穂情報 図書センター」の 整備	「(仮称)瑞穂情報 図書センター」の 整備	検討	H29年3月供 用開始	供用	H29年3月 28日供用 開始	供用	供用	達成
5	科学関連学習事 業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
6	未来の科学者育 成プログラムの充 実	未来の科学者育 成プログラムの実 施(ジュニア講座 受講者数)	実施	拡充	拡充 (100人 (※1))	拡充	実施 (受講者 数減)	71人	遅れ
		ロボット工学講座 の実施(中高生対 象講座)	—	—	4講座	—	—	2講座	— (※2)

※1 平成30年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン6「未来の科学者育成プログラムの充実」の「ロボット工学講座の実施(中高生対象講座)」は、平成30年度末に行った中間見直しにより追加した項目であり、中間目標(平成30年度末目標)が設定されていないため、進捗状況の評価は行わず、平成30年度末実績値及び最終目標(令和3年度末目標)のみ参考として掲載。

生涯学習振興課、中央図書館、文化振興課、スポーツ振興課、高齢福祉課

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、防災、医療・健康、国際理解など様々なテーマで講座を開催しました。 公民館では、情報（ICT）・防災・環境・健康・消費生活・歴史・国際交流など、現代的な課題に関する講座を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域課題や利用者ニーズを把握し、多くの市民が参加しやすい学習機会を提供します。
2	<ul style="list-style-type: none"> 市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことのできる事業の実施を意識し、また、オリンピック・パラリンピックを見据えた文化事業の実施を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> メディア芸術振興事業やチバリアフリーアートプロジェクト等の文化・芸術事業の取組みを継続して実施します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 重点事業であるトップスポーツ連携では、トップスポーツチームによる学校訪問を34校で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進計画に基づく各種スポーツ施策の取組み、及び取組状況の進捗管理を行います。
4	<ul style="list-style-type: none"> 「(仮称) 瑞穂情報図書センター(現: みずほハスの花図書館)」は、寛ぎながら読書を楽しめるスペースの設置に加え、自動貸出機、タブレット端末及びデジタルサイネージ等のICT機器を活用したサービスの導入など、新たな取組を行う図書館として、花見川区役所1階に整備を進め、平成29年3月に供用を開始しました。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターや公民館では、幅広い年代に向けて、科学関連学習事業を実施しました。 科学館では、館内の講座や企画展の他、館外でのワークショップなどのアウトリーチ活動、公民館や放課後子ども教室への講師派遣などにより、日常に科学が浸透する取組を実施しました。従来の取組に加え、平成30年度より小学校への科学館出張授業「おもしろ教室」など、年間60回以上の活動を実施しました。小学校と連携・協力をした事業を行うことで、さらに子どもたちに科学の面白さを伝えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や生涯学習センター、科学館などで、科学都市戦略事業方針に基づき、科学関連学習事業を継続して実施します。
6	<ul style="list-style-type: none"> 動物公園での新規講座を立ち上げ、受講者数は前年度より29人増の71人となりました。講座後のアンケートでも98.7%の受講者が「楽しかった」と回答しており、参加した受講者からは高い評価を受けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニア講座では、年度当初から全ての講座で市内公立小学校5、6年生全員に個別にチラシを配付するとともに、電子申請による申込を受け付けます。また、科学館での新規講座を立ち上げるなど、内容の充実に取り組みます。

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		各年度の実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
7	キャリア教育の推進	キャリア教育の推進	検討	実施	実施	実施	実施	実施	順調
8	放課後子ども教室の推進	実施日数	21.2 日/校 (H26)	従来型 19.3 日/校 活動支援型 25.0 日/校 (※1)	従来型 22.0 日/校 活動支援型 28.0 日/校 (※1)	19.8 日/校	19.8 日/校	従来型 17.9 日/校 活動支援型 25.9 日/校	遅れ
		活動支援実施校数	—	—	17 校	—	—	17 校	— (※2)
		一体型事業実施校数	—	—	18 校	—	—	1 校	— (※2)
		放課後子どもプラン策定	—	—	策定	—	—	策定	— (※2)
9	子ども読書活動の推進	読書習慣のある児童生徒の割合(小学5年生)	45.2% (H26)	49.0%	52.5%	46.0%	48.1%	44.0%	遅れ
		読書習慣のある児童生徒の割合(中学2年生)	46.9% (H26)	49.0%	52.5%	44.4%	44.5%	43.0%	遅れ
		1か月に読んだ本が0冊の児童生徒の割合(小学生)	1.1% (H26)	0.9%	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%	達成
		1か月に読んだ本が0冊の児童生徒の割合(中学生)	7.9% (H26)	6.4%	5.5%	2.8%	1.6%	1.3%	達成
10	青少年教育・少年教育事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調

※1 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン8「放課後子ども教室の推進」の「活動支援実施校数」他2項目は、平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加した項目であり、中間目標(平成 30 年度末目標)が設定されていないため、進捗状況の評価は行わず、平成 30 年度末実績値及び最終目標(令和3年度末目標)のみ参考として掲載。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
7	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、関係機関との連携を図りながら、シニア、女性を対象とした講座を実施しました。 学校教育分野では、業界団体や産業系専門高校の学校訪問を実施し、進路指導学習の充実を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、引き続きキャリア教育に関連する講座を実施します。 学校教育分野では、今後のキャリア教育の課題等について検討するとともに、作成した教員用ガイドブック等を活用し、キャリア教育の推進を図ります。
8	<ul style="list-style-type: none"> 従来型の実施日数が伸び悩む理由は、協力員等の担い手が不足する中、安全管理やプログラム開発等の地域への負担が大きいためです。 活動支援型は対象校を17校に拡充して実施するとともに、7校を重点支援校として支援体制を強化しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合コーディネーターによる活動支援を継続します。さらに、支援校は希望制により決定することで、真に支援を要する学校に支援を行い、実施日数の増加を図ります。
9	<ul style="list-style-type: none"> 読書習慣のある児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて減少しています。また、昨年度と比較するとどの学年でも低下しています。学年別平均読書量でも同様の傾向が見られますが、これは、情報機器の利用増加が要因の一つであると考えられます。 図書館では、「ファミリーブックタイム事例集」や「まほうの読書ノート」の配布、子ども読書まつりの実施など、子どもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境整備や適切な支援を行いました。また、学校へ出向いてのお話会やブックトーク、見学時の本の紹介など、子どもに直接本を紹介する事業を、学校と連携して行いました。さらに、中学生に関しては、職場体験の受入れや団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、中学生の読書習慣の形成に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まほうの読書ノート」から「どくしょてちょう」ヘデザイン仕様を変更するなど、子どもの読書活動の推進を図ります。また、職場体験の受入や団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、学校との連携をさらに強め、引き続き中学生の読書習慣の形成に努めます。
10	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、教員経験者で組織する団体などとも連携を図りながら、子どもの健全育成に資することを目的として講座を実施しました。 公民館と南部青少年センターでは、学校や家庭では体験できない体験学習・工作等の学習講座を提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も利用者ニーズを把握しつつ、多様な体験学習機会の提供を継続的に実施します。

※ アクションプラン6「未来の科学者育成プログラムの充実」の「ロボット工学講座の実施(中高生対象講座)」とアクションプラン8「放課後子ども教室の推進」の「活動支援実施校数」他2項目は、平成30年度末に行った中間見直しの際に追加した項目であるため、平成30年度の「主な成果と考察」と「今後の取組み等」は記載しない。

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		各年度の実績			
			H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	進捗 状況
11	家庭教育支援 事業の実施	「子育てママの おしゃべりタイ ム」の実施館数	21 館 (H26)	28 館	28 館	22 館	22 館	22 館	遅れ
		「子育てママのお しゃべりタイム」の 延べ参加者数	—	—	2,500 人	—	—	1,925 人	— (※)
12	高齢化社会に 対応した学習機 会の提供	生きがいづくり・ 仲間づくり、健 康・福祉に関す る講座の開催	実施	拡充	拡充	実施	実施	拡充	順調
13	公民館主催講座 の拡充	公民館主催講座 の実施・拡充	—	—	900 講座	—	—	972 講座	— (※)

※ アクションプラン 11「家庭教育支援事業の実施」の「『子育てママのおしゃべりタイム』の延べ参加者数」、アクションプラン 13「公民館主催講座の実施・拡充」は平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加したアクションプラン及び項目であり、中間目標(平成 30 年度末目標)が設定されていないため、進捗状況の評価は行わず、平成 30 年度末実績値及び最終目標(令和3年度末目標)のみ参考として掲載。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
11	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の支援や子育ての不安や悩みを解消するため、「子育てママのおしゃべりタイム」を公民館で実施しましたが、実施館数は中間目標に達しませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、人材確保等実施体制の強化を図りながら、地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数の増加に努めます。
12	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、高齢化社会の進展に対応する現代的課題学習及びタブレットやスマホを扱ったメディア学習事業を実施しました。 公民館では、健康セミナーや終活講座などの講座を実施しました。 いきいきプラザ・センターの高齢者福祉講座では、年間延4万人以上の高齢者が受講し、健康増進や生きがいのある生活が送れるための役割を担っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も社会の変化を注視しながら、利用者ニーズを把握し、継続的な学習機会の提供に努め、引き続き高齢者の健康増進や生きがいのある生活が送れるよう支援します。

※アクションプラン 11「家庭教育支援事業の実施」の「『子育てママのおしゃべりタイム』の延べ参加者数」、アクションプラン 13「公民館主催講座の実施・拡充」は、平成 30 年度末に行った中間見直しの際に追加したアクションプラン及び項目であるため、平成 30 年度の「主な成果と考察」と「今後の取組み等」は記載しない。

3 学びを生かしたコミュニティづくり

3-1 地域の担い手となる人材育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、専門的知識を持つリーダーをはじめ、地域・団体活動のリーダー、ボランティア等の人材を育成します。
- 講座などの学習活動をきっかけとして仲間づくり、絆づくりを進め、学習活動の担い手の育成につなげます。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	計画策定状況	目標		各年度の実績			
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	達成 状況
8	市民のボランティア活動・地域活動への参加状況	16.4% ※1	23.0%	30.0%	21.9%	13.5%	16.7%	×
WEB アンケート (※2)								

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 9 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出。

※2 平成 28 年度末より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
8	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターや公民館でボランティアやリーダーの育成講座を実施しており、前年度に比べ、市民のボランティア活動・地域活動への参加状況は 3.2 ポイント上昇しましたが、中間目標を達成することはできませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズを踏まえボランティアやリーダー育成講座の充実を図るとともに、ボランティア等の活動についての幅広い周知や、活動場所の発掘など、学習成果を地域に還元するしくみづくりに取り組みます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、高齢福祉課等

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標		各年度の実績			進捗 状況
			H27 末	H30 末 (中間)	R3 末 (最終)	H28 末	H29 末	H30 末	
1	団体・グループ活 動のリーダーの養 成・育成	指導者養成研修 * 延受講者数	333 人 (H26)	370 人	400 人	389 人	364 人	347 人	遅れ
2	ボランティアの育 成	ちば生涯学習ボラ ンティアセンター 登録者数	1,634 人 (H26)	1,850 人	2,000 人	1,635 人	1,697 人	1,743 人	遅れ
3	家庭教育支援事 業の実施(一部再 掲)	家庭教育支援チ ーム数	2 チーム (H26)	4 チーム	4 チーム	2 チーム	2 チーム	2 チーム	遅れ
		子育てサポーター 人数	33 人 (H26)	42 人	42 人	36 人	39 人	35 人	遅れ
4	高齢化社会に対 応した学習機会 の提供(一部再 掲)	健康・福祉・介護 予防等に有用な 実践的講座の開 催	実施	拡充	拡充	実施	実施	拡充	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターや公民館において、リーダー養成研修を実施しましたが、受講対象者が限定されるため、広報の効果が上がらず、中間目標に達しませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館のクラブ連絡協議会等と連携して、アンケートを踏まえたニーズに応えられるようリーダー養成講座の充実を図るとともに、参加しやすい日程調整やわかりやすい広報に努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者数は、着実に増加していますが、高齢化や団体の活動停止等による減少もあり、中間目標に達しませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは引き続き、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体が所管するボランティア等との連携・協働を図るとともに、ボランティアセンターの広報活動の充実に努めます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されてきているものの、家庭教育に取り組む人材が不足しており、チーム数、サポーター数ともに伸び悩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保については、引き続き、公民館や学校の協力を得て、子育てサポーターや青少年育成委員等の既存の家庭教育関連団体に適切な人材の紹介を呼びかけるとともに、チームが開催するイベント等についてもより一層の広報PRに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 公民館では、健康セミナーや終活講座などの高齢化社会に対応した講座を実施しました。 いきいきプラザ・センターの高齢者福祉講座では、年間延4万人以上の高齢者が受講し、健康増進や生きがいのある生活が送れるための役割を担っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、高齢化社会に対応した講座を実施するなど、高齢者の健康増進や生きがいがある生活が送れるよう支援します。

3-2 学習成果の活用機会の提供

施策の方針

- 学習の成果を社会・地域に還元できるよう、様々な活用方法や機会を提供します。
- ボランティア等が市民の学習ニーズに合わせて活躍できるよう、支援が必要な者とのマッチングや活動紹介等の機会を確保します。
- ボランティア等が自ら積極的に活動・情報発信できるよう、拠点となる場所を確保します。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
9	年2回以上学習成果を地域に還元する団体の割合	43.7% ※1	68.0% ※2	71.0% ※2	— ※3	— ※3	67.6%	×
生涯学習関係団体アンケート調査								

※1 平成27年度末現状値は、平成26年11月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出。

※2 平成30年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※3 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成28・29年度は未実施。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
9	・生涯学習施設において学習した成果を還元する団体は増えてきているものの、中間目標に達しませんでした。	・学習成果を発表するだけでなく、地域に還元することの必要性を積極的にアピールすることで、取り組む団体を増やすよう努めます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、中央図書館等

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標			各年度の実績			達成 状況
			H27 末	H30 末 (中間)	R3 末 (最終)	H28 末	H29 末	H30 末		
1	市民自主企画 講座や施設ボラ ンティアによる 学習機会の提 供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
2	学習成果の発 表機会の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	青少年交流事 業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	ボランティアセン ター等における コーディネート の実施	ちば生涯学習ボ ランティアセンタ ーにおけるコー ディネート	198 件 (H26)	230 件	260 件	231 件	221 件	234 件		順調
5	生涯学習ボラン ティアの活動場 所の提供	生涯学習センタ ー内にボランテ ィア活動スペー スを提供	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、市民自主企画講座の募集や施設ボランティアによる講座の開催など、市民が学習成果を還元する機会を確保しました。 ・科学館では、ボランティアによる企画講座を50回実施し、894人が参加しました。 ・加曽利貝塚博物館では、博物館及び野外観覧施設の解説、イベント等での縄文体験など、ボランティアガイド延べ3,181人が活動に参加し、23,862人に対して展示解説や各種体験等を行いました。 ・郷土博物館では、3階常設展示「千葉氏の興亡と妙見信仰」について、ボランティアによる展示解説を実施しました（登録者数73名）。平成30年度は延べ3,013回、6,370人に対し解説を行いました。 ・図書館では、育児サークル・保育施設・学校等の読み聞かせへのボランティア派遣を実施しました。（活動場所73か所、活動回数108回、活動人数294人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自主企画講座や、ボランティアによる展示解説・案内・読み聞かせを継続して実施します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、学習団体が学習成果を発表する機会を確保するため、「まなびフェスタ」を開催しました。また、「ボランティアフェア」を開催し、生涯学習ボランティアによる自らの活動紹介や学習成果の発表の場を提供しました。 ・公民館では、クラブ・サークル連絡協議会による発表の場として、文化祭を実施しました。学習への意欲をより高め、生涯学習によるコミュニティづくりに寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学習成果の発表の場を提供し、市民による自主的な学習活動の普及・啓発を支援します。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター、公民館において、青少年団体に施設を貸し出し、青少年の自主的な活動及び異世代交流による健全育成を図りました。 ・南部青少年センターにおいて、「ゆめチャレンジ」を実施し、青少年に学習成果の発表の場と交流を深める機会を提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性やコミュニケーション能力、感性などを育む体験の場を提供し、青少年の健全育成を支援します。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートの実施数については、新規施設・団体からの依頼が着実に増加しており、順調に推移しています。多くの依頼が見込める小・中学校や公民館へ直接事業説明を行い、広報活動にも努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ側と教える側の情報マッチングなどをより進めます。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ボランティアが自ら積極的に活動・情報発信できるよう、生涯学習センター内に、ボランティアの活動場所となるスペースを提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生涯学習ボランティアの活動の充実が図られるよう、支援していきます。

3-3 市民の参加・協働による学習活動の推進

施策の方針

- 地域が自主的に取り組む学習活動を支援し、地域課題を自ら解決するコミュニティづくりを目指します。
- 団体活動の後援及び情報発信の支援等を行います。
- 地域で活動する団体相互の連携を支援します。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	当初	目標		各年度の実績			達成状況
		H27 末	H30 末 (中間目標)	R3 末 (最終目標)	H28 末	H29 末	H30 末	
10	住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合	24.3% ※1	27.0%	30.0%	— ※2	28.9%	31.8%	◎
WEB アンケート (※3)								

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。

※2 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施。

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から WEB アンケートにより調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
10	・公民館運営審議会や運営懇談会などで議論された地域課題を講座に反映させるなどの工夫を重ねた結果、目標達成につながりました。	・公民館運営審議会や運営懇談会の議論の活性化をはじめ、地域の団体等と連携して主催事業を実施するなど、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を続けます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、学事課、健全育成課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	当初	目標			各年度の実績			達成 状況
			H27 末	H30 末 (中間)	R3 末 (最終)	H28 末	H29 末	H30 末		
1	多様な主体による 学習活動の推進	公民館、生涯学 習センターにおい て多様な主体と連 携して実施した事 業数	103 事業 (H26)	115 事業	120 事業	114 事業	109 事業	131 事業	達成	
2	公民館を拠点とし た地域連携の推 進	公民館の利用を 促し、地域住民の つながりを深める	検討	実施	実施	実施	実施	実施	順調	
3	地域交流・多世代 交流事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調	
4	学校支援地域本 部やコミュニティ・ スクール等の推 進	連携組織の設置	学校支援 地域本部 小：2校 中：1校	学校支援 地域本部 小：16校 中：10校 (※)	学校支援 地域本部 小：34校 中：22校 コミュニティ・スクー ルのモデル 実施 (※)	学校支援 地域本部 小：4校 中：2校	学校支援 地域本部 小：10校 中：6校	学校支援 地域本部 小：16校 中：10校	順調	
5	健全育成活動の 推進	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調	
6	特別教室等の開 放	継続しつつ、類似 事業への移行を 進める (※)	継続	継続しつ つ、類似事 業への移行 (※)	継続しつ つ、類似事 業への移行 (※)	継続	継続	継続	順調	
7	社会教育関係 団体の育成	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調	

※ 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター、公民館では、NPO法人や大学、民間事業者、地域団体と連携し、市民向け事業を実施することで、多彩な事業展開を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> NPO 法人をはじめ、大学、民間企業、地域団体、生涯学習施設で活動している団体等と連携し、地域課題の把握に努め、学習内容と機会の充実に努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 公民館では、公民館クラブ・サークルや地域住民の方を講師とした講座を実施しました。また、地域団体を通じた講座受講者募集を行うなど、地域との連携に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公民館を拠点とし、地域住民と連携した講座を推進します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 公民館において、地域交流行事や伝承遊び講座等の多世代交流事業を継続して実施し、地域住民の交流や異なる世代間の交流を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、地域交流事業や伝承遊び講座等の多世代交流事業を実施します。
4	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度は、予定通り新規校 10 校に本部を設置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度も前年度同様に新規校 10 校に本部を設置する予定です。
5	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校区の青少年育成委員会において、危険箇所の点検、レクリエーションやスポーツ活動、研修会、環境浄化活動や補導点検、あいさつ運動、地区の環境整備活動等を行うことで地域の青少年の健全育成につながっています。 活動にあたっては、内閣府が提唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（7 月）、「全国子ども・若者育成支援強調月間」（11 月）、さらには「青少年を健全に育てる運動」などの趣旨を生かしながら、地域の青少年の健全育成を図りました。 平成 20 年の「青少年の日（毎年 9 月第 3 土曜日）」及び「家庭・地域の日（毎月第 3 土曜日とその翌日曜日）」の制定を機に、それぞれの日を中心とした時期に活動を集中し実施しました。「青少年の日」には毎年「青少年の日フェスタ」を実施し、青少年と家庭・学校・地域・行政がつながりを持ち、コミュニケーション力を高め、青少年の居場所づくりの推進にもつながっています。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや SNS などの情報ツールの急速な普及やスマートフォンなどの携帯端末の所持率の増加、人間関係の希薄化等、青少年を取り巻く環境が年々大きく変化し、青少年が関ったり、巻き込まれたりする事件・事故が多発している中、地域の中核となって青少年の健全育成に大きく寄与している青少年育成委員会活動への支援を継続していくとともに、より一層の活性化を促します。
6	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設開放事業の移行を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、移行を進めます。
7	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等で社会教育関係団体向けの研修を継続して実施し、団体活動や団体相互の連携を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も社会教育関係団体を対象とした講座を継続して実施します。